

令和2年度

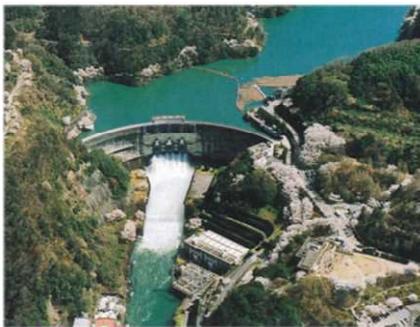
事業概要



国土交通省近畿地方整備局
淀川ダム統合管理事務所

令和2年度 淀川ダム統合管理事務所 事業概要

淀川ダム統合管理事務所では、淀川水系の流水管理（ダム群の統合管理）、淀川水系の洪水予報、天ヶ瀬ダムの管理、近畿地方のレーダ雨量計の運用管理などを行っています。



《諸元》

- ・ダム形式：ドーム型アーチ式
- ・ダムの高さ：73.0m
- ・ダムの長さ(堤頂長)：254m
- ・年平均降水量(天ヶ瀬ダム流域)：1,381mm
- ・湛水面積：1.88km²
- ・総貯水容量：2,628万m³(甲子園球場約50杯分)
- ・ダム湖名：鳳凰湖

※年平均降水量は、至近10年平均

天ヶ瀬ダム：国土交通省

完成年：昭和39年度【55年経過】

《目的》

●洪水調節

- ダム地点計画高水流量：1,360m³/s
- ダム最大放流量：840m³/s
- 淀川ピーク時放流量：160m³/s

●水道用水

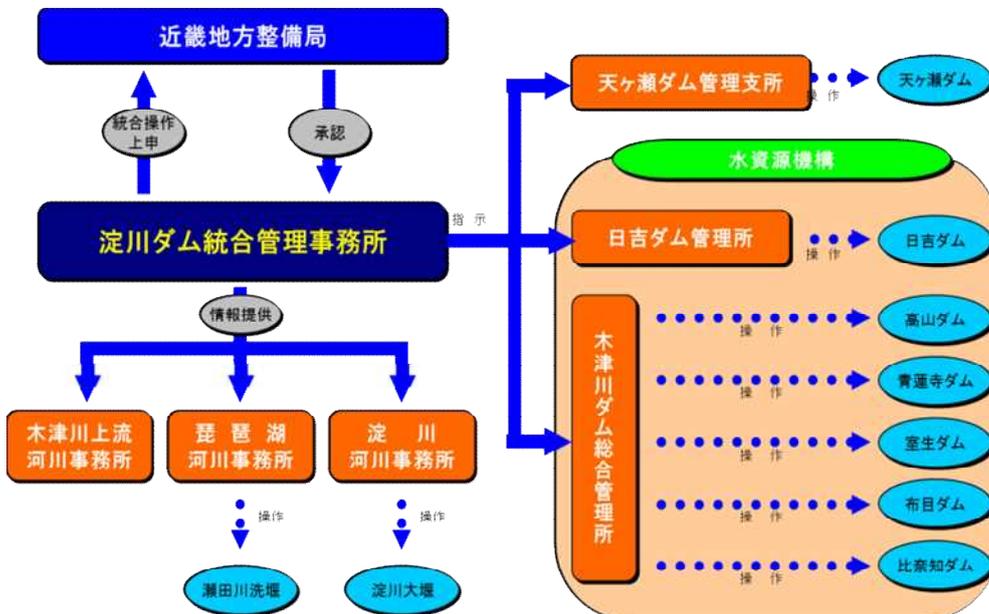
- 最大取水量：0.3m³/s
- (暫定豊水利水：最大0.9m³/s)

●水力発電

- 天ヶ瀬発電所 最大使用水量：186.14m³/s
- 最大出力：92,000kW
- 喜撰山発電所 最大使用水量：248m³/s
- (純揚水式) 最大出力：466,000kW

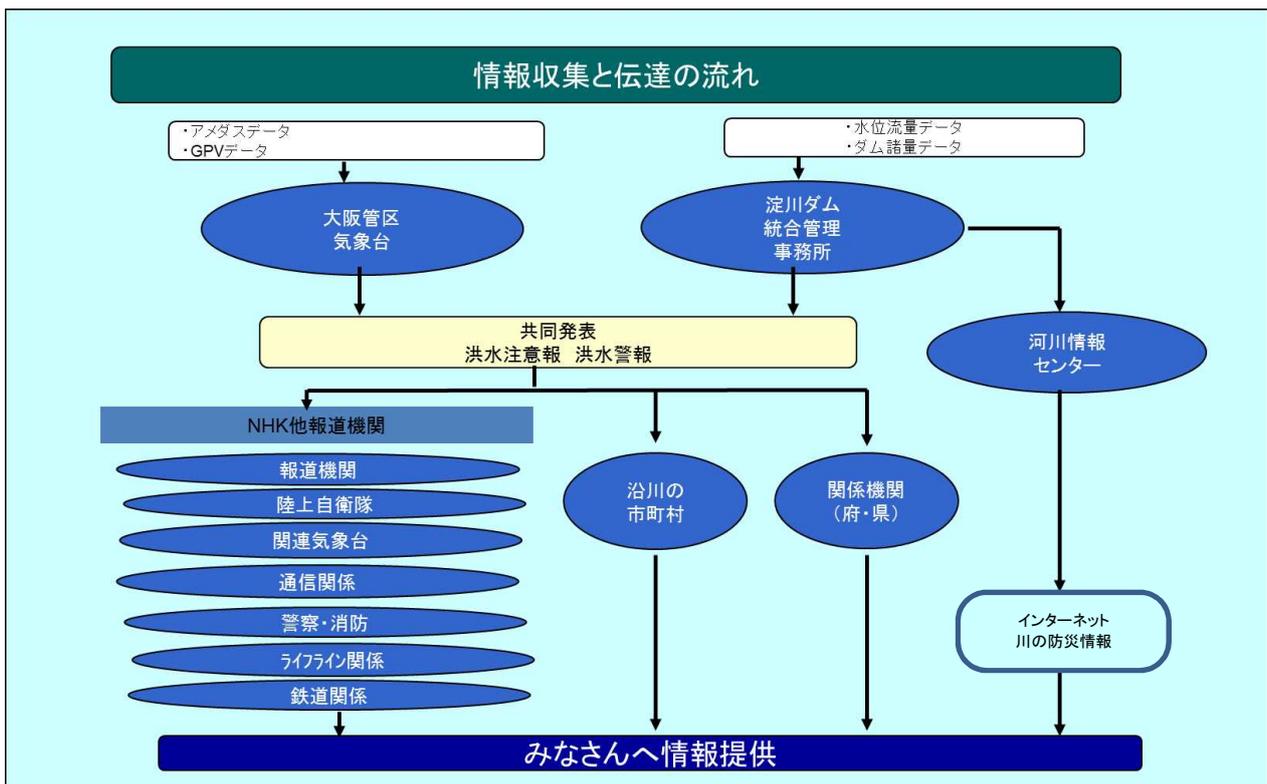
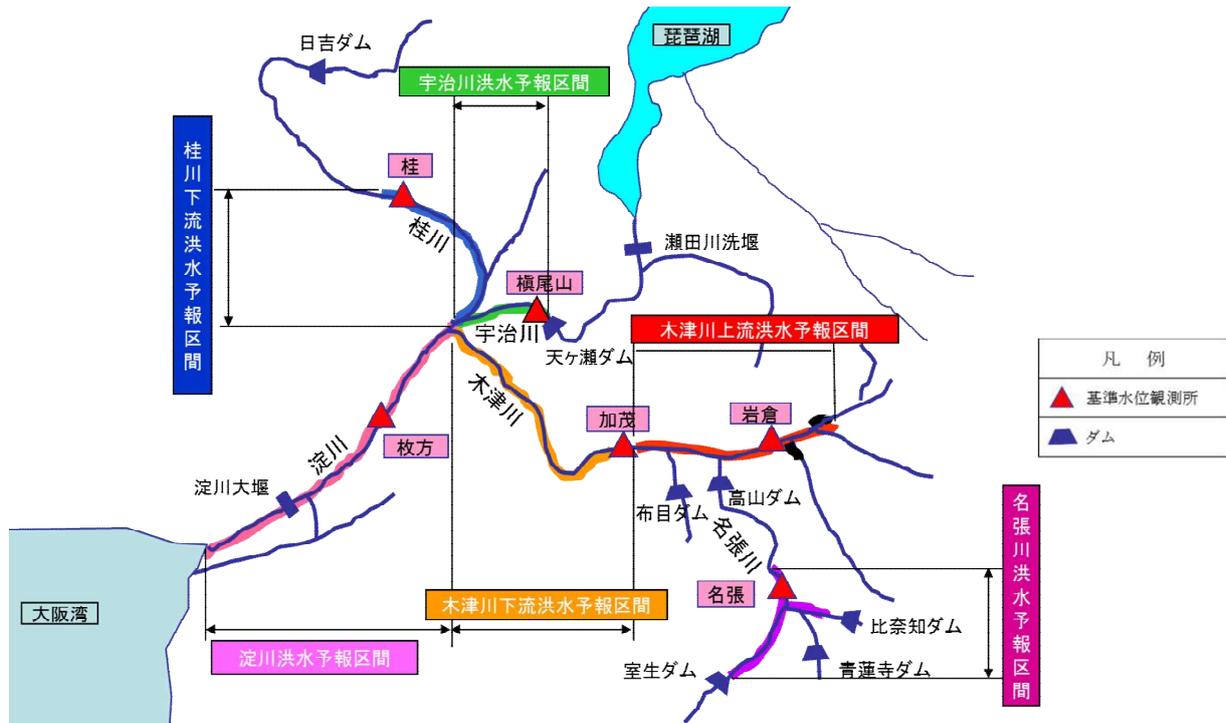
■ 淀川水系の流水管理（ダム群の統合管理）

淀川水系の7ダム（天ヶ瀬、日吉、高山、室生、青蓮寺、比奈知、布目）と瀬田川洗堰、淀川大堰を連携させ、淀川水系全体の流水管理を行っています。洪水時には高水管理として、収集した河川情報や気象情報を元に洪水予測を行って、各ダム等の操作方法を検討し、指示や情報提供を行います。また、平常時や渇水時には低水管理として、効率的で効果的な淀川水系の水運用を行うため、日々変動する流況を確認し、予測を行い、各ダムや堰からの補給量を決定し、指示や情報提供を行っています。



■ 淀川水系の洪水予報

収集した河川情報や気象台から提供される気象予報をもとに洪水の予測を行い、河川水位の見込みや氾濫の危険性について一般の方に情報提供する洪水予報を実施しています。淀川水系の6区間（淀川、宇治川、桂川下流、木津川下流、木津川上流、名張川）の予報について、大阪管区気象台と連携し、氾濫注意情報、氾濫警戒情報、氾濫危険情報、氾濫発生情報などを予測される水位レベルなどに応じて発表しています。発表内容は、行政機関や報道機関などを通じ、また、インターネットや携帯電話サイトにより一般市民へ情報提供しています。



■ 天ヶ瀬ダム管理

淀川水系のダムのうち本川である宇治川で唯一のダムであり、水系内で最も古い多目的ダムである天ヶ瀬ダムの管理を行っています。主な管理内容は、ダム堤体や機械・電気・通信等各ダム設備の点検、整備や補修、貯水池の巡視、ゲートの操作、放流時の下流警報巡視、堆砂状況調査、水質等の環境調査などです。

令和2年度は、これらの管理業務を確実に実施するとともに、堆積土砂の撤去、主ゲート・予備ゲートの機側操作盤の更新、右岸減勢工の応急対策、放流警報設備の改修、低周波音調査等を実施します。

ダム管理



右岸減勢工応急対策

右岸減勢工導流壁の変位を抑制するために、埋戻土を盤下げして応急対策を実施する。

対策工のための工事用進入路を確保するために、法面対策も合わせて実施する。



ゲート設備修繕(天ヶ瀬ダム3号ゲート)



主ゲート操作盤



予備ゲート操作盤

放流警報設備の改修



放流警報局

堆砂撤去 (天ヶ瀬ダム湖)



大石地区 (R元年度)



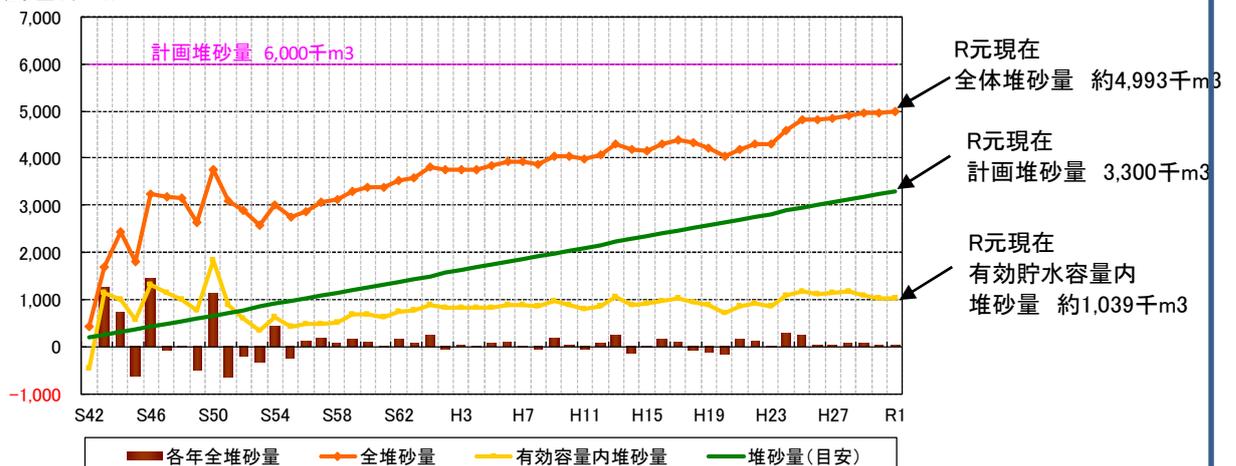
曾東地区 (R元年度)

堆砂状況

- 経過年数 55年(令和元年度末現在(昭和39年(西暦1964年)完成))
- 堆砂容量設定の年数 100年
- 経過率 55%(55年/100年)
- 有効貯水容量 20,000千m³
- 洪水調節容量 20,000千m³
- 堆砂容量 6,000千m³
- 堆砂率 約83.2%(全体堆砂量約4,993千m³/計画堆砂量6,000千m³)
- 洪水調節容量内堆砂量 約5.2%
- (有効貯水容量内堆砂量約1,039千m³/有効貯水容量20,000千m³)

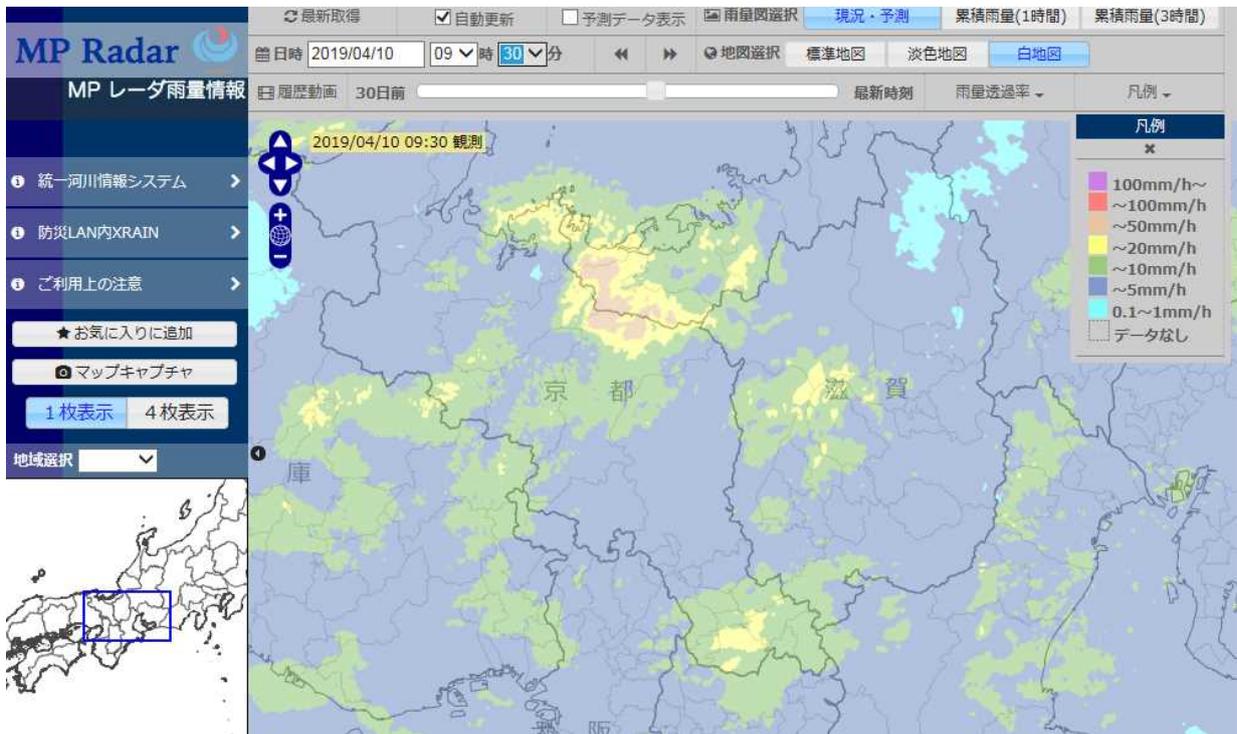
堆砂量の変遷

堆砂量(千m³)



■ 近畿地方のレーダ雨量計の運用管理

水管理や防災システムの高度化を図るため、降雨状況を面的に捉えるレーダ雨量計システムを運用しており、近畿地方全体を広域的に観測するCバンドMPレーダ雨量計を2基（深山、城ヶ森山）及び京阪神圏を高精度、高頻度で観測するXバンドMPレーダ雨量計を4基（田口、六甲、葛城、鷺峰山）の計6基のレーダ雨量計の運用管理により、近畿全域において高精度・高分解能(250mメッシュ)・高頻度(配信間隔1分)で、地上雨量計の補正が必要なくほぼリアルタイムの配信が可能となっています。



■ その他

地域との協働によるダム管理を推進します。

令和2年度も、宇治観光ボランティアガイドクラブ、宇治市観光協会等と協働しながら天ヶ瀬ダム見学会やツアーを実施し、天ヶ瀬ダムを観光資源として活用した取り組みで地域の観光発展に寄与するとともに、天ヶ瀬ダムの魅力を多くの方に知って頂けるよう引き続き取り組んでいきます。

天ヶ瀬ダム上流域では地元NPOと協働での水生生物調査を行います。

令和元年度の実施状況

水辺で乾杯！

2019『宇治茶で乾杯！In中の島』

- 日時：令和元年7月5日（金）午後7時7分7秒
- 場所：京都府宇治公園（中の島・橋橋）橋橋付近
- 参加人数：約40名
- 主催：淀川ダム統合管理事務所
- 共催：宇治市役所、宇治市観光協会
- 内容：宇治市長の乾杯のご発声のもと、おいしい宇治茶（碾玉）で乾杯しました。この様子は、翌日の地元紙にも掲載されました。



乾杯の様子



挨拶される宇治市長

森と湖に親しむ旬間イベント

やましろ未来っ子サイエンスラリー・JRふれあいハイキング 合同企画「天ヶ瀬ダムの優美な姿を目に映そう」

- 日時：令和元年8月4日（日）9時30分～14時30分
- 場所：天ヶ瀬ダム、天ヶ瀬ダム再開発事業、宇治発電所
- 参加人数：38名（小学4年生以上）
- 主催：（公社）宇治市観光協会、京都府山城教育局、JR西日本、淀川ダム統合管理事務所
- 共催：宇治観光ボランティアガイドクラブ
- 協力：関西電力（株）、琵琶湖河川事務所
- 内容：各見学先を巡る型式のハイキング



点検放流を見学



ゲート点検放流を望む

Eボート川くだり体験&天ヶ瀬ダムプレミアム見学『ダム特別体験』

- 日時：令和元年9月29日（日）【1日2回実施】
- 場所：天ヶ瀬ダム及び、宇治川
- 参加人数：午前30名、午後27名 計57名
- 主催：（株）アオキカヌーワークス
- 協力：宇治市、（公社）宇治市観光協会、京阪ホールディングス（株）、宇治観光ボランティアガイドクラブ、宇治観光開発（株）、淀川ダム統合管理事務所
- 内容：天ヶ瀬ダム（概要説明、堤頂部案内、キャットウォーク歩行）見学とEボートによる宇治川くだり



点検放流を見学

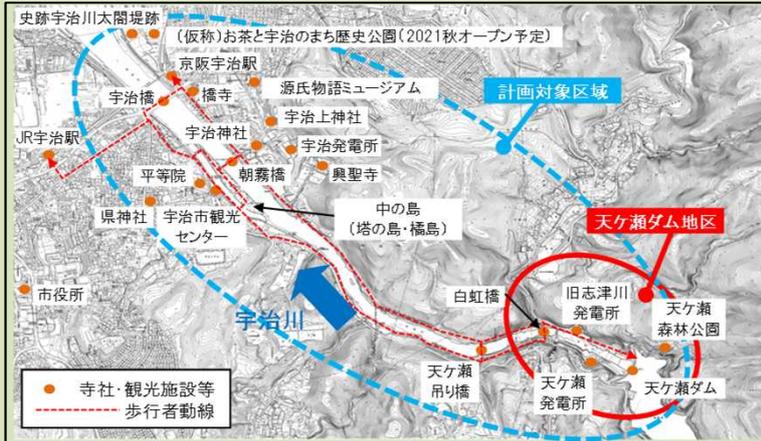


Eボートで宇治川を川下り

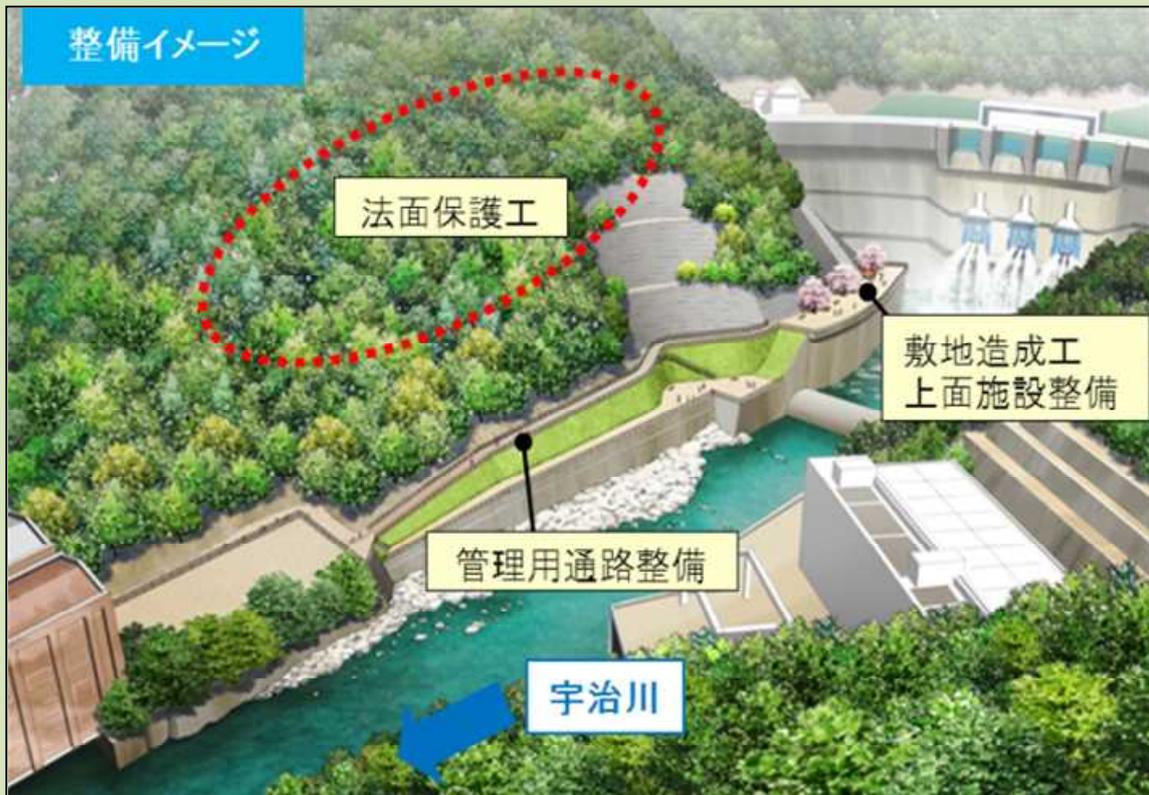
「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり」計画が登録されました



- ・平成31年3月8日(金)、「かわまちづくり支援制度」に係る計画として、京都府宇治市の「宇治市天ヶ瀬ダムかわまちづくり」計画が登録されました。
- ・天ヶ瀬ダムを観光資源として有効的に活用し、管理用道路や天ヶ瀬ダム直下に広場を整備することにより市街地との周遊性を向上させるほか、民間事業者にも参画を促し、広場やダム周辺の水辺を活用したイベント等の開催により、観光振興の促進を図ります。



淀川ダム統管理事務所では、この取り組みに対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間で営利活動を実施する場合には、河川占用敷地許可準則に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。



組 織

